

参加者：伊藤、内山、北島、小海、
斎川、佐藤、田中、中島、
町田、安田、山岡、
ゲスト：石川、国分、松本、斎藤、並木、

BMW RS Club

かわらばん

7/4

July 4, '04

梅雨の晴れ間に奥日光で
露天風呂を楽しんだ一日
かわらばん；中島邦雄 挿絵；小倉玲子

夏の訪れを告げる入谷鬼子母神の朝顔市が始まりました。彩りも鮮やかに赤青紫などの花を付けた鉢が並び、その中を揃いの浴衣を着た親子連れが散策し、ハッピ姿の売り手との取り合せが、いかにも下町の夏の風趣を感じさせます。
そしてそれが終わった夜からは、浅草寺境内へと河岸を変えてのホウズキ市、一度お参りすると46,000日もご利益があるという、いわゆる四万六千日、さらに真打ち登場とばかりに隅田川の川開きが控え、いよいよ東京の街々は本格的な夏を迎えます。

今年は雨が少なく空梅雨だと云われてますが、我々のツーリングの日になるとおかしな具合となり、四月が雨で中止、さらに五月の一泊の際には土曜日は晴れたものの、帰りは午後から雨の予報が、朝からしっかりと降られ、雨と霧の船原峠を恐々越えて帰りました。さらに六月も当日は朝から雨となりましたが、皮肉なことに月曜日になると毎度ピーカンの日々なのです。今回も週間予報によると、週末は台風の影響で駄目そうでしたが、当日は今迄のうっぷんを晴らすかのような、見事な一日となり、六月に予定され雨で流れた奥日光方面への再挑戦となりました。朝方から爽やかな気持ちの良いバイク日和で、人々のツーリングに集合地の東北道「蓮田SA」には次々と仲間が集まり、五人のゲストを加え計16台の威容となりました。

雨の日々が幾日かあったせいか、秋口のように空気が澄み渡り、遠くの山々がはっきりと見渡せます。何時もの如く高速道路に出るや各々がスッ飛び開始で、あっと言う間に「栃木IC」に到着です。其処に筑波山の麓の方に引っ越した、クラブ最長老の町田さんが、ヘルメットからタオルを垂らし長靴を履いて、仮面ライダーのような恰好で待っていました。

高速を降り水田の続く広々とした田舎道を少し走った処で、安田さんの前輪がパンク、交番の前で修繕が始まりました。前の晩に飲み過ぎて酒臭いメンバーが居ますが、ボリ公の姿が見えたものの、良い案配に交番からは誰も出てきませんでした。古いフラット・ツインはチューブ・タイヤで簡単には直らず、彼が持参のタイヤー・パンドーを注入して走り始めました。ところがそれが古かったらしくて十分に液が出ず、すぐに元の状態に戻ってしまいました。近くには店も無く万事窮です。私がガス・ステーションを探しに行くと、1キロ程先に車の修理屋が有りました。お母さんとお嫁さんが居たものの、店の主は今が最盛期の川へアユ釣りに出ているとか。そこへタイヤーを外した安田さん、北さんが二人乗りで現れましたが、必要なパッチの在りかが分りません。お母さんが携帯で川に居る伴にその場所を聞き出し、二人が工場と道具を借りて修理しました。少し走ると左側に川が現れ、細い川ですが大変な数の人が長い竿を振り、アユ釣りに興じていました。近くには友釣りの「囲アユ」を売る店が何軒か有り、暫く行くと川の中に枝を伸ばしたネムの木が、ピンクの奇麗な花を付けていました。

栗野を過ぎて日光、足尾方面へ向かう柏尾峠越えの開始です。狭くて急な坂道はカーブ毎に番号が現れ、カーブ39を過ぎた辺りから下りにかかりました。所々に浮き砂や落ち葉が広がり、前から急に現れる車に肝を冷やしながら下ると、カーブ68でサインが無くなりました。鬱蒼(うっそう)とした森の処々から木漏れ日が差し、コーナー病の人には此処は最適でしょうが、伊豆の仁科峠を思わずのような些か怖い峠でした。そして降りた処が足尾町で突き当たりの道路が国道122号線です。

其処を右折して日光方面へ向かいます。今回は一足先に走っていた内山さんが、各ポイント毎に止まってくれていて後から走る者は大助かりでした。日光市内もかなりの人出でしたが、霧降高原有料道路を進むと、道路の両側がまるで駐車場状態で、バイクでさえもなかなか進めません。後で分かった事ですがニッコウキスゲが、スキー場のゲレンデに丁度咲いていて、それを見る人で大賑わいだったようです。しかし此処のニッコウキスゲやシラネアオイは増え過ぎた鹿に食べられ、貧弱な花が残っているばかりです。遙か下の方に時折シカが歩いている、六万尺橋まで走ると車も減りヤット一息入れました。

空気がとても爽やかで、いかにも高原に来たという感じがしました。左右の芝生の中には牧牛が草をはみ、のどかな中を下って行くと大笹牧場。其処を右手に見ながら栗山村へと下り、今日の休憩処「四季の湯」に到着しました。我々が何度も行き好評、あの一升蕎麦で名高い「北の路」のすぐ近くです。ガス・ステーションが目の前に有り其処へバイクを並べました。

此処の結構な露天風呂に入り汗を流しました。透明泉のツルツルするようなお湯で、周囲の緑の中に

水力発電のタービンを回すと思われる

太い管が山肌に沿って見えました。

とても静かで心身が洗われる

感じでした。この辺りは

豪雪地帯ですから

店の親父に冬は当然

休業かと思い聞いたところ

吹き出してくれる温泉を止める訳には

ゆかず、オフ車などで来る好き者もいるそうで

一年中営業をしているとのことでした。周囲が雪に

包まれた中で露天風呂に入るには少々勇気が要ります。二時半を回り帰途に就きました。気温がかなり上がっています。

一度、大笹牧場に戻り牧場に沿うように左に走って、今市方面へ向かいました。此処の細い道にも結構帰り車が多く、前が見通せると各自が一台づつ前車を抜いて走りました。日光有料道路の料金所を抜けると、センター・ライン沿いに瘦せこけたニッコウキスゲが咲いていましたが、霧ヶ峰や美ヶ原の緑を埋め尽くすような、あの見事さが思い起こされました。一般道で筑波山方面へ帰る町田さんを、北島さんが誘導して降り口へと走ってゆき、残りの我々は東北道へと別れました。

久々に天気にも恵まれ楽しい一日を送りました。先月は雨で流れ、さらに今月も企画担当をして下さいました安田さん、二か月にわたりご苦労様でした。その度に案内を発送したり大変だったと思います。全参加者になり代わり御礼申し上げます。ゲストの皆様もお楽しみ頂けましたでしょうか。これに懲りずにまたご参加下さい。なお九月より後半の入会を希望される方は半額会費となります。十月の一泊や十二月の忘年会もあり十分に元は取れると思います。よろしければご入会下さい。

追記：パンクが直ったと思った安田さんのバイクは、再びエアーが抜け止まる度にエアーを入れて戻りました。

締めくくりは「蓮田SA」を出た直後に並木さんがパンク。次回からは各自パンク修理剤を持って走りたいところです。